



歓迎会では、上間団長から「もとぶ南蛮窯」の花瓶が池部町長に贈呈されました。歓迎会で児童全員によるエイサーを元気に披露。スキー体験では金山小・下金山小の児童と交流。犬ぞり体験では大きな歓声を上げて楽しみました。カーリング体験では落合小・北落合小の児童と交流。ワカサギ釣り、今年はたくさん釣れました。スキーツリ体験では金山小・下金山小の児童と交流。



### 「友好の町」沖縄県本部町 親善交流団が来町し交流を深める

「友好の町」沖縄県本部町との間で、平成3年から行われている親善交流事業として、本部町から20名の交流団の皆さん（小学5年生15名、随行者5名）が、2月2日から5日までの日程で本町を訪れ、町内の児童やホームステイ受入家族などと交流を深め、白銀の大地「冬の北海道」を体験しました。

2月2日、午後6時からみなくるで開かれた歓迎会では、池部町長の歓迎挨拶の後、交流団上間団長から、「交流事業を通して、南富良野町との友好が一層深まることを願っています。」と高良文雄本部町長からのメッセージが読み上げられました。本部町の児童からは、「南富良野町でスキーやカーリングを体験することが楽しみです。」など一人ひとり自己紹介をした後、全員でエイサーを元気に披露しました。

翌日の午前中には、幾寅小学校を訪問し、歓迎集会や5年生児童との交流学習が行われ、北海道の生活に関するクイズや名刺交換、屋外でのチューブすべりなどで交流を深めました。午後からは、落合のどんころ野外学校で犬ぞりを体験し、歓声を上げながら楽しんでいました。続いて、空知川スポーツリンクスでは、落合・北落合小学校児童とカーリング体験を通して交流を深めました。リンクの上を歩くのは初体験とあって、悪戦苦闘する児童もいましたが、落合・北落合小学校の児童から、スローンの投げ方などを教わり、ミニゲームなどを楽しみました。

3日目には、早朝からかなやま湖でワカサギ釣りに挑戦し、今年も例年になくよく釣れて、児童の皆さんも大喜びでした。スキー場では、金山・下金山小学校の児童とスキー体験を通して交流が行われ、5グループに分かれて先生方から指導を受けて、ほとんどの児童が滑れるようになりました。

この日の夜は、各ホームステイ先で北海道の家庭料理を味わいながら交流を深めました。

2月5日の早朝には、ホームステイ先の家族に見送られ、本町を離れた交流団の皆さんは、札幌雪まつりなどを見学し、翌日、北海道での皆さんの思い出を胸に帰路につきました。

今年の6月には、本町の小学6年生が本部町を訪問する予定となっています。

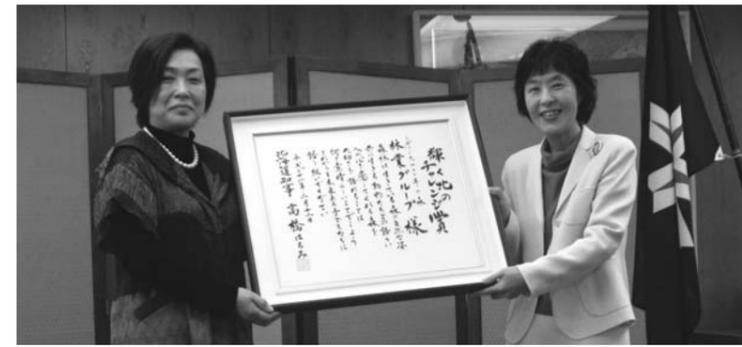
## 平成20年度 北海道男女平等参画チャレンジ賞 レディース100年の森林業グループ「輝く北のチャレンジ賞」を受賞

本町で女性林業グループとして活動しているレディース100年の森林業グループ（鷹嘴充子会長・会員10名）がこのたび、平成20年度北海道男女平等参画チャレンジ賞「輝く北のチャレンジ賞」を受賞されました。

この賞は、道内各地で、それぞれの個性と能力を活かして活躍されている方々の活動を讃えて北海道知事が表彰する賞で、平成16年度に創設され、受賞された方々の活動を広く道民に紹介し、男女平等参画社会実現への気運を高めることを目的としています。

レディース100年の森林業グループは、平成2年に不在地主が所有する山林が売りに出されたことがきっかけとなり、カラマツ林約13ヘクタールを10区画分割し、10名の女性が山林所有者となり、平成3年6月に道内初の女性林業グループとして発足しました。

発足後、「森と人との結びつき」をテーマに、自ら枝打ちや下刈り作業を行いながら、自らの森を会員やほかのグループなどの交流の場にするため「実習林」とし、地場産カラマツを利用したログハウスを建設し、研修の場としてきました。



高橋知事とともに笑顔で表彰状を手にする鷹嘴会長（左）

また、「森林を育て、水資源や環境を守る」をテーマに森林ボランティアグループ「緑とエコサポーターネットワーク」との植樹など、他の分野との交流を行い、地域の親子や子どもたちを対象とした森林教室の開催や公共施設などへの花壇の設置など、地域環境づくりの活

動を積極的に行ってきました。男性社会とわれわれがちな林業の世界で、女性ならではの視点と感性で山と向き合い、森林の大切さ、森との共存、癒しの大切さを積極的に発信し、長きにわたる活動により、他の地域に新しい組織が結成されるなど広がりを見せつつあり、さらなる活躍が期待されています。このたびの受賞となりました。

2月12日に北海道庁で行われた贈呈式には、鷹嘴会長が出席し、高橋はるみ北海道知事から賞状が贈呈されました。

翌日には、鷹嘴会長をはじめ、会員の皆さんが役場を訪れ、池部町長に受賞の喜びを報告しました。報告を受けた池部町長は、「受賞を機に、若い女性の方々に声をかけて会員を増やし、グループの活動を更に充実させていってください。」と激励しました。

鷹嘴会長は、「このような賞をいただきうれしく思っています。高橋知事からいただいた賞状に、これまで自分たちが発した言葉が記されていることに、改めて感激しました。今後も森林の大切さを積極的に発信していきたい。」と話していました。

## 地域活性化・生活対策臨時交付金事業 本町の実施事業について

国内の景気や雇用情勢などの急速な悪化に対処するため、「安心実現のための緊急総合対策」「生活対策」および「生活防衛のための緊急対策」などの総合的な経済対策として、定額給付金事業をはじめ、地域のきめ細かなインフラ整備などを促進する「地域活性化・生活対策臨時交付金事業」が、国の平成20年度補正予算（第2号）として平成21年1月27日に成立しました。

この補正予算の執行は、財源を確保する関連法案の成立後に施行されるといふ前提のもとに、本町に対しても定額給付金等事業の実施要綱が示され、さらに、地域活性化・生活対策臨時交付金事業の施設整備等についても国との事前相談を行いました。

本町には1億5,16万5千円の交付金が交付される予定で、

本交付金を有効に活用して、平成21年度に予定していた事業の前倒しをはじめ、地域住民の要望や第4次総合計画の予定事業を含めて検討を行い、高規格救急車の更新、特別養護老人ホーム一味園の改修、町民体育館照明設備の改修と児童クラブ室屋根の改修および旧高校校舎の解体、公宅の解体、町立歯科診療所の新築移転、教員住宅の浄化槽設置、雇用対策として町有林枝打ち事業などを実施することで、国との事前相談を終えています。

定額給付金事業をはじめとする各種事業について、町としては、厳しい地域経済の状況や住民皆様の厳しい生活環境に鑑み、国における関連法案が成立し、各種事業の施行日が決定されたときには、速やかに事業に着手することとしています。